

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年11月1日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 小白川キャンパス長の就任について
2. 大学院生が博物館で個展 ～川橋勇人「不可視の博物誌」～
3. 地域教育文化学部の学生による「西川町の良さを発見、発信するプロジェクト」が進行中
4. 山形大学の研究紹介～菌垢を分解する微生物～
5. 大学生が主催する科学イベント「サイエンスリンク」山形初開催
6. 「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について
7. 第44回模擬裁判公演のお知らせ

お知らせ

1. 「女性に対する暴力をなくす運動」パープルライトアップを実施します
2. 人文学部講演会「株式会社という仕組みは、どこからきて、どこへ行くのか。」の開催
3. グローバル研究会セミナー「グローバルな社会で勝ち抜くための人財と育成方法」の開催
4. 大学コンソーシアム「やまがた夜話」の開催

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年11月15日(火)11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(11月1日)発表者

1. 小白川キャンパス長の就任について

学長	こやま きよひと 小山 清人
学術研究院 教授／理学部長	たまた ひでとし 玉手 英利

2. 大学院生が博物館で個展 ～川橋勇人「不可視の博物誌」～

大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野1年	かわはし ゆうと 川橋 勇人
学術研究院 教授(大学院地域教育文化研究科担当)	こばやし しゅんすけ 小林 俊介

3. 地域教育文化学部の学生による「西川町の良さを発見、発信するプロジェクト」が進行中

学術研究院 教授(地域教育文化学部担当)	こばやし しゅんすけ 小林 俊介
地域教育文化学部造形芸術コース3年	いずみ ちあき 泉 千晶
//	しらばやし あやね 白林 彩音
//	なかうち ほのか 中内 帆乃香

4. 山形大学の研究紹介～歯垢を分解する微生物～

学術研究院 助教(応用微生物学)	やの しげかず 矢野 成和
------------------	------------------

5. 大学生が主催する科学イベント「サイエンスリンク」山形初開催

理学部生物学科1年	こひなた しょうや 小日向 翔也
農学部食料生命環境学科1年	きの しゅんいち 佐野 舜一

6. 「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」

公開講座について

学術研究院 教授(日本文学)	やまもと はるふみ 山本 陽史
----------------	--------------------

7. 第44回模擬裁判公演のお知らせ

人文学部法経政策学科	3年	にわ ねいろ 丹羽 音彩
//	3年	みなみ としみつ 南 俊光
//	2年	くろぬま けんろう 黒沼 健郎

平成28年11月1日
山形大学

小白川キャンパス長の就任について

山形大学では、平成28年4月から各キャンパスの運営責任者としてキャンパス長を置き、それぞれのキャンパスの運営にあたっています。このたび、次期小白川キャンパス長が決定しましたので、お知らせします。

■学術研究院 教授 玉手 英利（たまた ひでとし）

- ・任 期 平成29年4月1日から平成31年3月31日まで（2年）
- ・専門分野 生態遺伝学
- ・年 齢 61歳

※ 山形大学では、平成28年度から、経営と教学における責任と権限の関係を明確にするため、規程を整備し、各キャンパスにそれぞれキャンパス長を置き、経営責任者として位置づけました。キャンパス長は、各地区に所在する教育研究組織その他の組織に係る予算・決算並びに施設・設備等の管理に関する業務をつかさどります。一方、学部長は、教学面での責任者です。

【現行】	小白川キャンパス長	玉手英利（～平成29年3月31日）
	飯田キャンパス長	山下英俊（～平成31年3月31日）
	米沢キャンパス長	飯塚 博（～平成29年8月31日）
	鶴岡キャンパス長	林田光祐（～平成30年3月31日）

（お問合せ先）
総務部総務課広報室
電話 023-628-4008

平成28年11月1日
山形大学

大学院生が博物館で個展 ～川橋勇人「不可視の博物誌」～

山形大学大学院生、川橋勇人さんが研究対象として蒐集した「不可視生物」の拓本を、学芸員資格取得を目指して博物館学を学ぶ学生たちが山形大学附属博物館に展示します。学生の、学生企画による、学生のための参加型展覧会です。不可視生物を「採集」するワークショップもあります。ぜひお越しください。

☆大学院生、川橋勇人（かわはし ゆうと）さんの研究「不可視生物」の展示です。

川橋勇人さんは山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野の大学院生です。目に見えない世界に棲む生物を研究対象とし、その存在を拓本によって世にしらしめようとしています。

☆学生による学生のための展覧会です。

川橋勇人さんの研究(作品)を山形大学で博物館学を学ぶ学生が「学芸員curator」として企画・制作(curation)し、学生目線の展示を行います。

博物館に常設展示されている様々な生物・化石標本と、川橋勇人さんの「不可視生物」の拓本が共鳴して、生物とは何か、自然とは何かをアートの視点から考える展示になればよいと考えています。

☆不可視生物をつかまえよう！

そんなものが存在するとは信じられない！という方のために、実際に不可視生物から拓本をとるワークショップを開催します。講師はもちろん、この世界の第一人者、川橋勇人さんです。

【実施概要】

主催 山形大学大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野
山形大学附属博物館
協力 平成28年度博物館実習生（後期）
会期 平成28年11月19日(土)～12月15日(木)
休館日 11月20日(日)、23日(祝)、27日(日)
12月4日(日)、11日(日)
開館時間 9時30分～17時（ただし、土曜日は11時～17時）
会場 山形大学附属博物館
入館料 無料

【関連行事】

ワークショップ「不可視生物レプリカによる拓本採集体験」
不可視生物のレプリカを使って、拓本作成を体験してみよう。

- ・日 時 平成28年11月26日（土）13:30～15:00
- ・参加方法 事前申込不要 先着10名 当日博物館受付にお越しください

* 本展は科学研究費補助金基盤研究（A）「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」（研究代表者：五十殿利治 課題番号15H01874）の研究活動の一環として実施します。本研究は博物館や相当施設を持つ6大学が集まり、大学の持つ文化的資源、とくに美術に関する資源（アート・リソース）の活用を目指して研究活動を行っています。本研究で山形大学は「学生・市民の参加による博物館運営」をテーマに掲げており、今回その一環として学生による、学生作品の展示を行うものです。



博物誌の不可視

川橋勇人

←川橋勇人さんによる「不可視生物」拓本の一例

（お問合せ先）

山形大学附属博物館

TEL 023-628-4930

E-mail : hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学大学院地域教育文化研究科小林俊介研究室

TEL:023-628-4329 FAX:023-628-4454

shun@e.yamagata-u.ac.jp

目に見えぬ
世界は存在する。
この拓本群こそが
その証拠である。

平成28年
11月19日〔土〕
↓
12月15日〔木〕

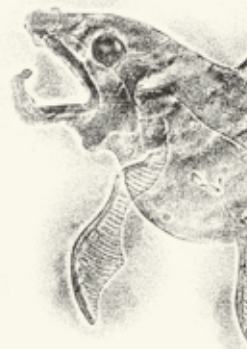
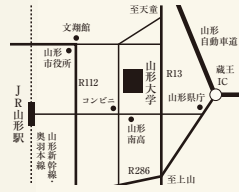
※休館日は11月20日・23日・27日、12月4日・11日
時間 9時30分～17時
(土曜日11時～17時) 入場無料
会場 山形大学附属博物館

川橋勇人 不可視 の 博物誌

●関連行事 ワークショップ
「不可視生物レプリカによる
拓本採集体験」
不可視生物のレプリカを使って、
拓本作成を体験してみよう。
日時 平成28年11月26日 土
13時30分～15時 参加無料
先着10名 ※事前申込み不要。
参加ご希望の方は当日博物館受付に
お越しください。

川橋勇人(かわはしゆうと)
山形大学大学院地域教育文化研究科1年、山形大学地域
教育文化学部造形芸術コース在籍時より、版画技法を用い
た架空世界を主な表現主題とする。2015年春より拓本
技法による作品の制作、及び目には見えない架空生物であ
る不可視生物の考案、研究に着手。以後、不可視生物の創
造、そしてその記録媒体としての拓本製作を続ける。

主催 山形大学大学院地域教育文化研究科
文化創造専攻造形芸術分野・
山形大学附属博物館
協力 平成28年度博物館実習生(後期)
お問合せ 山形大学附属博物館
TEL 023-628-14930
FAX 023-628-14668
E-mail hakukan@ink.yamagata-u.ac.jp
アクセス JR山形駅前から「県庁行」バス乗車
「山形南高前」下車徒歩5分



平成28年11月1日
山形大学

地域教育文化学部の学生による

「西川町の良さを発見、発信する」プロジェクトが進行中

地域教育文化学部の食環境デザインコースと造形芸術コースが授業の一環として合同で行っている「フィールドプロジェクトF(フード&アート)」では、山形県西川町の良さを伝えるために様々な活動を行っています。各コースの学びを活かし、「メニュー開発」「デザイン」「広報」の3チームに分かれ、西川町の食材を使ったメニューの開発や、伝統工芸のデザイン提案、活動の発信を行っています。11月23日(水)には、西川町にある「月山湖水の文化館」(月山湖畔の展示施設)で、西川産のそば粉を使ったガレットの販売提供やデザイン作品の展示を行います。

○メニュー開発チーム

西川町の「そば粉」を使った「ガレット」のレシピを作りました。10月16日に西川町で開催された「新そば祭り」ではそのガレットの試作を行い、限定50食提供し好評でした。今後は、11月23日(水)に水の文化館で行う成果発表会に向けて、調理・提供方法をさら試作検討しているところです。



○デザインチーム

デザインチームは、3チームの中で、唯一、造形芸術コース、食環境デザインコースの学生が混在しているチームです。ここでは、西川の名産品を用いたデザインを大学生の目線で考案しています。これまで、西川町の文化や伝統工芸を知るために、炭焼き体験や、メノウ磨き体験、月山和紙を使ったぼんぼり作りなどを体験してきました。今後は、メノウを使った箸置きや、月山和紙を使ったランチョンマットの提案に向けて動いています。これらは、11月23日(水)の成果発表会におけるガレット提供時に活用したいと考えています。



○広報チーム

広報チームは主に、「メニュー開発チーム」と「デザインチーム」の活動を発信する役割を担っています。Facebookを利用して活動を発信するほか、西川町のみなさんとの交流やフィールドプロジェクトの活動をより知ってもらうための「学生名刺」を作りました。今後は、このプロジェクトの宣伝、11月23日(水)の成果発表会をお知らせするためのポスター・チラシのデザイン考案・作成を行っていきます。



フィールドプロジェクト
アカウントQRコード



○「西川町をもっと好きになる会」(プロジェクト成果発表会)

以下の要領で本プロジェクトの成果発表会を行います。ぜひお越しください。



- ・日時: 11月23日(水) 10:00-16:00
- ・場所: 月山湖 水の文化館(西川町砂子関字八ツ楯沢158-130、
国道112号線沿い・月山湖大噴水そば)
- ・内容: ガレットの販売提供、デザイン作品の展示、
メニューの機能性・製品のデザインコンセプト口頭発表
(10:30- / 14:30-)

(お問合せ先)

山形大学地域教育文化学部小林俊介研究室
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL:023-628-4329 FAX:023-628-4454
e-mail:shun@e.yamagata-u.ac.jp

平成28年 11月 1日
山形大学

山形大学の研究紹介 ～歯垢を分解する微生物～

1グラムの土の中には、1億以上の数の微生物が存在すると言われています。それら微生物は様々な酵素を分泌していますが、まだわかっていない酵素がたくさんあります。矢野成和助教（応用微生物学）の研究室では、自然環境中から α -1,3-グルカン分解菌を分離し、 α -1,3-グルカン分解菌が生成する酵素（ α -1,3-グルカナーゼ）の研究を進めています。この酵素は、病原カビからの防除に、また、コク味成分であるニゲロオリゴ糖を生産するのに利用できます。矢野研究室では、役に立つ新しい微生物を積極的に探しています。

1 α -1,3-グルカンとは

α -1,3-グルカンは（図1）、グルコースが α -1,3-グルコシド結合で連なった不溶性の高分子多糖であり、口腔内に棲息する虫歯原因菌が生成する菌体外ポリマー（歯垢）として、あるいはカビ類の細胞壁構成多糖として存在します（図2）。最新の研究で、いくつかの動・植物に感染するカビは、感染する際に積極的に細胞壁表層に α -1,3-グルカンを作り、宿主免疫から回避するのに利用していることも分かってきました。

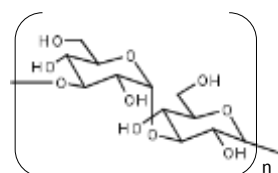
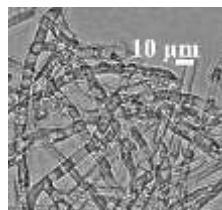


図1 α -1,3-グルカン

構造は、デンプンに似ている。

光学観察



蛍光観察

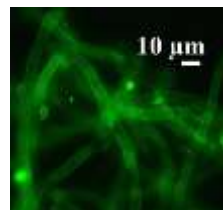


図2 カビ細胞壁 α -1,3-グルカン

カビ細胞壁表層の α -1,3-グルカンを特殊染色して、蛍光顕微鏡で観察。

2 土壌からの α -1,3-グルカン分解菌の探索

日本各地の土壌から、 α -1,3-グルカン分解菌（※）を探索しました。その結果、*Bacillus circulans* KA-304、*Paenibacillus glycanilyticus* FH11や*Paenibacillus* sp. AO-13など複数を得ることができました。なお、*Paenibacillus* sp. AO-13は、山形県の土壌から分離した菌です（図3）。これら分解菌は、 α -1,3-グルカナーゼという酵素を分泌しており、 α -1,3-グルカンを分解して栄養成分としていました。



図3 山形県内の土壌より分離した*Paenibacillus* sp. AO-13

※微生物は、食物連鎖でいう分解者です。例えば、木が枯れたら微生物が増殖して、分解されて土に戻ります。本研究室では、 α -1,3-グルカンを分解できる微生物を α -1,3-グルカン分解菌と呼んでいます。

3 防カビ酵素としての α -1,3-グルカナーゼの利用

上記の菌から精製した α -1,3-グルカナーゼは、単独ではカビを分解することはできませんが、キチナーゼという酵素と混合して利用することで、カビの分解に成功しました（図4）。

現在、 α -1,3-グルカナーゼの構造を解析しており、カビ細胞壁溶解メカニズムの解明を行っております。将来的に、動・植物に感染する病原カビの感染を防ぐ技術に発展することを期待しております。

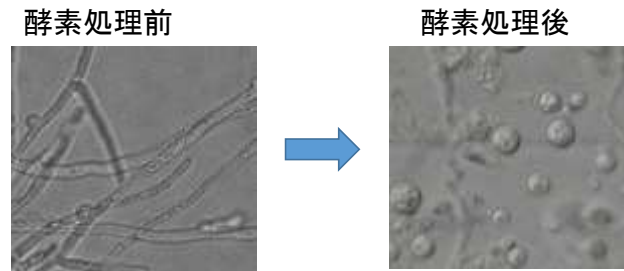


図4 α -1,3-グルカナーゼとキチナーゼを用いたカビ細胞壁分解試験

4 酒、みりん、蜂蜜のコク味成分

日本人が慣れ親しんだ酒、みりんのコク味成分の1つが、ニゲロオリゴ糖です。ニゲロオリゴ糖は、 α -1,3-グルカンを分解することで生産できます。上記の菌から得られた α -1,3-グルカナーゼで、 α -1,3-グルカンを分解したところ、ニゲロオリゴ糖が生産できました。

細菌から見つかった α -1,3-グルカナーゼは、病原カビを分解するだけでなく、コク味成分ニゲロオリゴ糖を作ることができる、とてもユニークな酵素であることが分かってきました。

本研究の一部は、科研費、山形大学産業研究所の助成を受けて行いました。現在、山形大学 YU-COE(C)ヘルスケア材料社会実装研究拠点（代表：野々村 美宗）の支援のもと行っています。

（お問合せ先）

学術研究院

助教 矢野 成和（応用微生物学）

電話 0238-26-3125

Mail shige-y@yz.yamagata-u.ac.jp

平成28年11月1日
山形大学

大学生が主催する科学イベント「サイエンスリンク」山形初開催

子どもたちに科学の面白さを伝えたい、そんな思いを持つ大学生たちが一堂に集まり、開催する大型科学イベントが「サイエンスリンク」です。毎年、日本科学未来館で開催され、これまでに8回実施。今回、関東圏以外では初めて山形で開催されることになりました。来場者に科学を体験してもらうのはもちろんのこと、出展団体同士の交流により、県内のサイエンスコミュニケーション活動のさらなる活性化も期待されます。

サイエンスリンクとは

サイエンスリンクとは、子ども向け科学実験を通して科学をひろく伝える活動をしているサークルなどを集めた学生による合同の体験型科学イベントです。一般の方々に科学を広く伝える活動をサイエンスコミュニケーション活動(以下SC活動)といい、近年子どもへの科学実験教室を中心にSC活動を行う学生団体が増加しています。サイエンスリンクではそのような学生団体が一つの会場にあつまり科学実験教室やサイエンスショーを行います。

サイエンスリンクは、来場者の方に科学を伝えるだけでなく、大学生がお互いに切磋琢磨する場でもあり、ネットワークをさらに広げていきたいと考えています。

「サイエンスリンクin山形」の開催決定！

今回、関東圏以外で初めて山形大学で開催することになりました。地元山形からは、山形大学SCITAセンター学生スタッフ、山形中央高校生物部&化学部が出展します。

日時：平成28年11月19日（土）10：00～17：00（16:30受付終了）

場所：山形大学小白川キャンパス体育館

出展団体：東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST

東工大ScienceTechno／東工大BioCreativeStaff

早稲田ものづくりサークルWITS／立教理科工房

東北大学サイエンスカフェ学生ボランティアS-café Sugars

東北大学天文学教室

山形大学SCITAセンター学生スタッフ

山形中央高校生物部&化学部

(お問合せ先)

山形大学学術研究院 教授

栗山 恭直

023-628-4506

毎年、日本科学未来館で開催される学生による大規模科学イベント「サイエンスリンク」
山形大学小白川キャンパスで開催決定!!

～子どもから、大人まで、みんな科学でつながろう～

IN 山形

大学生主催



2016年11月19日(土)

10:00~17:00(16:30受付終了)

【場所】山形大学小白川キャンパス体育館

【出展団体】

東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST
東工大ScienceTechno / 東工大BioCreativeStaff
早稲田ものづくりサークルWITS / 立教理工工房
東北大学サイエンスカフェ学生ボランティアS-café Sugars
東北大学天文学教室
山形大学SCITAセンター学生スタッフ
山形中央高校生物部&化学部 ほか

入場無料・予約不要

サイエンスリンクとは…

子どもたちに科学の面白さを伝えたい、そんな思いをもつ大学生たちが一同に集まり開催する大型科学イベント。これまでに8回実施。大学生が互いに切磋琢磨する場でもあり、今後さらにネットワークを広げていきたいと考えています。今回初めて関東圏外での開催。学生による活動が盛んな山形大学が、その第一歩となります！

♪小さなお子様は保護者同伴でお願いします♪

＜お問合せ先＞ NPO法人サイエンスリンク <http://sc-link.net/>
山形大学SCITAセンター ☎023-628-4506 <http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/>

主催：NPO法人サイエンスリンク

共催：山形大学SCITAセンター

東北大学大学院理学研究科

後援：山形市教育委員会

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

平成28年11月1日
山形大学

「奥の細道マイスター養成事業」及び「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」公開講座について

「東北の文化を世界に発信する」と題して、山形大学が実施する「奥の細道マイスター養成事業」の特別講演及び松島町教育委員会が実施する「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」の成果報告を行います。

山形大学では平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター養成講座」を開講しています。今年度で5年目となり、宮城県松島町を会場に上級講座を開催いたします。上級講座を開催するにあたり、講義の一部を特別講演として広く一般に開放します。あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文作業化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるための調査を行っており、その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

- ◆日時：平成28年12月3日（土）13：30～15：30
- ◆会場：松島町文化観光交流館 大ホール（宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2）
- ◆募集定員：200名（受講料 無料）※申込みが必要です。
- ◆内容：
 - 開会挨拶（13：30～13：35）
 - 第1部 講演（13：35～15：05）
 - 第2部 パネルディスカッション（15：05～15：30）
- ◆受付期間：～平成28年11月24日（木）

（お問合せ先）
山形大学EM部社会連携課
電話 023-628-4016

公開講座「東北の文化を世界に発信する」

山形大学では、平成24年度から一般市民を対象に、奥の細道についてのボランティアガイドを養成する「奥の細道マイスター養成講座」を山形県・宮城県内で開講しています。今回、宮城県松島町で上級講座を開講するにあたり、講義の一部を特別講演として広く一般に開放します。あわせて、松島町でも、平成25年度から地域に埋もれた文化遺産に光を当て、地域の活性化に役立てるための調査を行っており、その成果の一部を報告するとともに、今後の活動予定について紹介します。

〈プログラム〉 **開 会 挨拶** 13:30～13:35

第1部 講演 13:35～15:05

演題：「東北ゆかりの文学を海外に紹介する -俳句/奥の細道/井上ひさし-」

講師：山本 陽史（山形大学教授） 13:35～13:55

演題：「山寺芭蕉記念館英語俳句大会の取り組み」

講師：相原 一士（山寺芭蕉記念館学芸員） 13:55～14:15

演題：「日本の霊地霊場の国際発信の可能性-ポローニャ大学での講義・公開講座を通じて-」

講師：荒木 志伸（山形大学准教授） 14:15～14:35

（休憩） 14:35～14:45

演題：「松島の地域文化発信の取り組み」

講師：米城百合子（松島町教育委員会学芸員） 14:45～15:05

第2部 パネルディスカッション 15:05～15:30

テーマ：「東北文化の可能性」

パネリスト：米城百合子（松島町教育委員会学芸員）

相原 一士（山寺芭蕉記念館学芸員）

荒木 志伸（山形大学准教授）

コーディネーター：山本 陽史（山形大学教授）

日 時 平成28年度

12月3日（土） 13:30～15:30

場 所 松島町文化観光交流館 大ホール

（宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2）

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

受講料 無料 **定 員** 200名（先着順）

※事前申込みが必要です。
申込方法は裏面をご覧ください。

お問合せ・お申込み

山形大学エンrollment・マネジメント部社会連携課

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL:023-628-4016 FAX:023-628-4491

E-mail: embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学 奥の細道マイスター養成事業

奥の細道マイスター養成事業は、元禄2年（1689年）の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語ることでできるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化によるネットワークを構築する取り組みです。

本事業は、初級・中級・上級からなり、各講座を毎年1回開講しています。初級は、山形市山寺、中級は山形県庄内地方、上級は宮城県多賀城市・松島町で実施しています。皆さんも“奥の細道マイスター”を目指してみませんか？

また、現在までの上級修了者有志が「奥の細道マイスターの会」が結成し、研修会やボランティアガイドの取り組みを始めています。



奥の細道マイスター養成講座の様子

松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業（平成28年度文化庁補助事業）

～地域に埋もれた文化遺産に光を～

松島町には意外と知られていない貴重な文化遺産があり、平成25年から実行委員会を組織して文化庁から補助を受けて、調査と活用に取り組んでいます。

これまで瑞巖寺周辺の岩窟調査や、観瀾亭松島博物館の資料のデータベース化に取り組んできました。

現在は、昨年度作成した地域の文化遺産をめぐる文化遺産散策マップや観瀾亭のデジタル復元アプリをより広く利用してもらうため、更に内容を充実させる取り組みも行っています。

当日は、会場内の一室で事業の成果を紹介します。



山形大学荒木准教授らの岩窟調査風景

山形大学 「奥の細道マイスター養成事業」

松島町教育委員会 「松島町の文化遺産を活かした地域活性化事業」（平成28年度文化庁補助事業）

公開講座「東北の文化を世界に発信する」

参加申込書

ふりがな 代表者氏名			
代表者住所	〒	—	
電話番号	—	—	FAX
e-mail	@		
複数人でのお申込みの場合は、参加希望者全員のお名前（ふりがな）を下記にご記入ください。			
申込み人数	同行者氏名（ふりがな）		
人			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

◆受付期間：～11月24日（木）

※ 特別講演の受付は先着順となります。

◆申込方法：上記参加申込書に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・e-mailのいずれかでお申込みください。

◆お申込先：山形大学EM部社会連携課
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
F A X：023-628-4491
e-mail：embml@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年11月1日
山形大学

第44回山形大学模擬裁判公演のお知らせ

山形大学模擬裁判実行委員会は、年に1度、模擬裁判という裁判劇の公演を行い、研究成果を発表しています。44年目となる今年は、「児童虐待」をテーマに「日常～それはしつけですか？～」を公演いたします。

近年増加傾向にある「児童虐待」。その要因は多種多様であり、解決は決して容易ではありません。私たちは、とある母子家庭を舞台に「児童虐待」を描き、ご来場いただく皆様に、その問題点や解決策などを考えていただきたいと思います。

・模擬裁判とは

山形大学模擬裁判実行委員会とは、山形大学人文学部の1年生から4年生を中心に構成される人文学部の組織で、その研究成果発表が年に一度の模擬裁判という裁判劇の公演です。

模擬裁判の目的はこの裁判劇を市民の皆様に観ていただくことで、法律を身近に感じ、その時代時代が抱える社会問題について考えていただくきっかけを作ることにあると考えています。

・公演内容

【演題】日常～それはしつけですか？～

【日時】12月 9日（金） 17:30開場／18:00開演

12月10日（土） 14:30開場／15:00開演

【場所】山形市中央公民館（az七日町6階）

【料金】前売り券250円／当日券300円（高校生以下は無料）

【チケット販売】山形大学生協／八文字屋本店POOL／十字屋山形店／
CoRich（ネット販売）

（お問合せ先）
山形大学模擬裁判実行委員会
（委員長 丹羽）
電話 080-6042-0311
MAIL:mogisai44@gmail.com

第44回 模擬裁判公演

日常

それはしつけですか？



12月9日(金)

開場 17:30 / 開演 18:00

12月10日(土)

開場 14:30 / 開演 15:00

山形市中央公民館
(az 七日町 6F)

〈入場料金〉

前売り券 250円 / 当日券 300円
(高校生以下無料)

〈チケット取扱い〉

山形大学生協 / 八文字屋本店 POOL
十字屋山形店 / CoRich(ネット販売)

facebook <http://facebook.com/mogisai42/>
Twitter <http://twitter.com/moggisai43>
MOGISAI.NET <http://mogisai.net/>

お問合せ TEL 080-6042-0311(委員長 丹羽)

【主催】 山形大学模擬裁判実行委員会

【協賛】 ふすま同窓会

【後援】 山形県 山形県教育委員会 山形市 山形市教育委員会

山形県弁護士会 山形地方検察庁 山形地方裁判所

株式会社さくらんぼテレビジョン 株式会社テレビユー山形

山形コミュニティ放送 株式会社ダイバーシティメディア

株式会社山形テレビ 株式会社エフエム山形 山形新聞・山形放送

河北新報社 朝日新聞山形総局 読売新聞東京本社山形支局 毎日新聞山形支局

平成28年11月1日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 「女性に対する暴力をなくす運動」パープルライトアップを実施します

11月12日（土）から25日（金）に行われる内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて旧米沢高等学校本館のパープルライトアップを実施します。

実施日：平成28年11月12日（土）、18日（金）から25日（金）

時間：日没から22:00

2. 人文学部講演会「株式会社という仕組みは、どこからきて、どこへ行くのか。」の開催

講師： 浜田 道代（名古屋大学名誉教授、元公正取引委員会委員）

日時： 平成28年11月7日（月） 15:00～17:00

場所： 人文学部301講義室

3. グローバル研究会セミナー「グローバルな社会で勝ち抜くための人財と育成方法」の開催

山形大学工学部から発祥し、いまや世界的企業へと成長した帝人株式会社において、どのような戦略をもってグローバル人財を確保し、育成しているのかを学ぶセミナーを開催します。

講師： 西村 文（帝人株式会社新事業推進本部）

日時： 平成28年11月22日（火） 15:00～16:30

場所： 山形大学工学部街中サテライト（米沢市門東町3丁目1-47）

4. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

11月は、「明治初期の日本におけるイザベラ・L.バードとウィリアム・S.クラークの接点」をテーマに、内田勝雄氏（山形県立保健医療大学名誉教授）に2回にわたってお話いただきます。

期日： 平成28年11月16日（水）、30日（水）

時間： 18:30～19:30

対象： 高校生・大学生・一般の方々どなたでもご参加いただけます（定員50名）。

場所： ゆうキャンパス・ステーション

平成28年11月1日
山形大学

「女性に対する暴力をなくす運動」パープルライトアップを実施します

平成28年11月12日（土）から25日（金）に行われる内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて「旧米沢高等工業学校本館」のパープルライトアップを実施します。

米沢市が男女共同参画基本計画の重点目標の一つに掲げている「女性に対するあらゆる暴力の根絶」の推進のため、米沢市からの協力要請を受け、市内のシンボリック建造物である「旧米沢高等工業学校本館」のパープルライトアップを実施します。

パープルライトアップは内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」（11/12～11/25）に合わせて実施し、ドメスティック・バイオレンスに対する認識を深め、人権尊重のための意識啓発を図ることを目的としています。

山形大学は、男女共同参画および男女共に働きやすい職場作りに努めているところであり、男女間の偏見の解消、暴力廃絶に向けて本啓発活動に協力します。

是非とも足を運んでいただき、美しくライトアップされた「旧米沢高等工業学校本館」を見ながら、「女性に対する暴力をなくす運動」を広めていただければと思います。

実施日： 平成28年11月12日（土）、18日（金）から25日（金）（紫1色）
※11月13日（日）、15日（火）から17日（木）は、世界糖尿病デー（11月14日）に合わせた糖尿病予防等啓発ブルーライトアップ期間と重なるため、紫と青の2色でのライトアップとなります。

時間： 日没から22：00に点灯

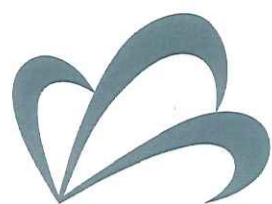
実施場所： 重要文化財「旧米沢高等工業学校本館」

実施担当： 米沢市企画調整部総合政策課 学園都市推進室
TEL 0238-22-5111 内線2807・2810

（お問合せ先）男女共同参画推進室米沢分室

TEL：0238-26-3356／3359 FAX：0238-26-3398

Email: y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学
Yamagata University

人文学部講演会

株式会社

という仕組みは、
どこから来て、
どこへ行くのか。



講師

浜田 道代 氏

名古屋大学名誉教授、元公正取引委員会委員

平成28年

11/7 月

15:00 - 17:00

入場無料・事前申込不要

会場 人文学部 301 講義室
主催 山形大学人文学部
共催 山形大学法学会

【お問い合わせ】

山形大学学術研究院(人文学部担当)教授 コーエンズ久美子

TEL : 023-628-4252 E-mail : koens@human.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学人文学部事務室

TEL : 023-628-4203 E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



グローバル研究会のご案内

グローバルな社会で勝ち抜くための人財と育成方法



TEIJIN

帝人株式会社新事業推進本部
元山形大学フレックス大学院産学連携教授
西村 文 氏

グローバル化が進む今日、日本企業の競争相手は先進国だけでなく新興国まで広がった。そのようなビジネス環境の中で生き残るためにはグローバル人財の育成と確保が欠かせない。本セミナーでは、山形大学工学部から発祥し、いまや世界的企業へと成長した帝人株式会社において、どのような戦略をもってグローバル人財を確保し、育成しているのかについて学ぶこととする。そして、これからの時代に求められるグローバル人財について議論を深める。

日時: 2016年11月22日(火) 15:00~16:30

場所: 山形大学工学部街中サテライト(ものづくり・ひとづくりキャンパス)

住所: 〒992-0039 山形県米沢市門東町3丁目1-47

※ 車でお越しの方は「平和通り」駐車場をご利用ください(終了後に駐車券をお渡しします)

※ 研究会には興味・関心のある方はどなたでもご参加を頂けます(事前申込制、先着45名)

【主催】 山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻、もっとみらいコンソーシアム
山形大学工学部国際交流センター、NPO法人Y-MOTネットワーク

【申込方法】 裏面を参照のうえ、お申し込みください。

グローバル研究会 申込用紙(FAX用)

【申込先】山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻事務室
FAX: 0238-26-3772 メール:takesi-w@indigo.plala.or.jp

【申込期日】 2016年11月18日(金) 17:00まで

ご所属(会社名)	
ご連絡先	〒
電話番号	
FAX番号	

氏名(ふりがな)	
氏名(ふりがな)	
氏名(ふりがな)	
氏名(ふりがな)	
氏名(ふりがな)	



FAX送信
方向

申込方法:上記を記入のうえで、FAXでお申し込みください。メールの場合は、上記内容を明記のうえで、記載するアドレスまでお送りください。不明な点はものづくり技術経営学専攻事務室(電話:0238-26-3622)までお問い合わせください。

やまがた夜話

「明治初期の日本におけるイザベラ・L・バードと
ウィリアム・S・クラークの接点」



平成28年

11月16日(水) イザベラ・バードの足跡

ーコロラド、山形、北海道、京都ー

11月30日(水) ウィリアム・S・クラークの足跡

ーマサチューセッツ、札幌、京都ー

※時間はすべて18:30 ~ 19:30です。



講師:内田 勝雄 氏(山形県立保健医療大学名誉教授)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み

電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。

定員:50名

入場無料



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

Tel: 023-628-4842 Fax: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成28年11月16日(水) 講師: 内田 勝雄 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年11月30日(水) 講師: 内田 勝雄 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp